



液圧用ホースアセンブリの 継手金具及び附属金具

JIS B 8363 : 2015

(JHCA/JSA)

平成 27 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 産業機械技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 田 祥 三	早稲田大学
(委員)	綾 部 統 夫	一般社団法人日本機械工業連合会
	岩 見 吉 輝	国土交通省総合政策局
	梅 崎 重 夫	独立行政法人労働安全衛生総合研究所
	小 菅 文 雄	一般社団法人日本産業機械工業会
	齋 藤 明 徳	日本大学
	眞 田 一 志	横浜国立大学
	高 辻 成 次	一般社団法人日本航空宇宙工業会
	田 中 文 基	北海道大学
	寺 田 進	株式会社神戸製鋼所
	平 岡 弘 之	中央大学
	藤 田 俊 弘	IDEC 株式会社
	松 尾 亜紀子	慶應義塾大学
	松 田 三知子	神奈川工科大学
	山 田 知 夫	日本内燃機関連合会
	山 田 陽 滋	名古屋大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 58.2.1 改正：平成 27.10.20

官 報 公 示：平成 27.10.20

原 案 作 成 者：日本ホース金具工業会

(〒105-0004 東京都港区新橋 6-11-13 つゆきビル TEL 03-3578-8321)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：産業機械技術専門委員会 (委員長 高田 祥三)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	3
4.1 継手の種類	3
4.2 附属金具の種類	3
5 性能	4
5.1 耐圧性	4
5.2 締付けトルク	4
6 寸法	5
6.1 継手の寸法	5
6.2 附属金具の寸法	5
6.3 ねじの寸法及び寸法許容差	5
7 外観	6
8 表面処理	6
9 材料	6
10 試験方法	6
10.1 寸法の測定	6
10.2 ねじ精度の測定	6
10.3 耐圧試験	6
10.4 締付けトルク試験	7
10.5 塩水噴霧試験	7
11 検査	7
11.1 一般事項	7
11.2 形式検査	7
11.3 受渡検査	7
12 保管及び包装	8
12.1 一般事項	8
12.2 防せい処理	8
12.3 保管場所	8
13 製品の呼び方	8
14 表示	8
14.1 製品	8
14.2 包装	8
解 説	37

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ホース金具工業会（JHCA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 8363:2009** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

液圧用ホースアセンブリの継手金具及び附属金具

End fittings and adapters for hydraulic hose assemblies

序文

この規格は、1983 年に制定され、その後 5 回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は 2009 年に行われたが、その後、次の日本工業規格の制定及び改正に伴い、これらの規格との整合性を考慮し、改正した日本工業規格である。

JIS B 8360 液圧用の鋼線又は繊維補強ゴムホースアセンブリ

JIS K 6349 液圧用の鋼線又は繊維補強ゴムホース

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、鋼線又は繊維で補強した液圧用ホース及び継手金具（以下、継手という。）によって構成する液圧用のホースアセンブリ（以下、ホースアセンブリという。）の継手及び附属金具について規定する。適用流体は、通常、作動油 HH, HL, HM, HR 及び HV である。

注記 ISO 6743-4 では、作動油の HH, HL, HM, HR 及び HV を、次のとおり定義している。

HH : 無添加鉱物油

HL : HH にさび止め剤と酸化防止剤とを配合したもの

HM : HL に耐摩耗性を付加したもの

HR : HL の粘度指数を向上したもの

HV : HM の粘度指数を向上したもの

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0202 管用平行ねじ

JIS B 0203 管用テーパねじ

JIS B 0205-4 一般用メートルねじ－第 4 部：基準寸法

JIS B 0208 ユニファイ細目ねじ

JIS B 0209-2 一般用メートルねじ－公差－第 2 部：一般用おねじ及びめねじの許容限界寸法－中（はめあい区分）

JIS B 0212 ユニファイ細目ねじの許容限界寸法及び公差

JIS B 0251 メートルねじ用限界ゲージ

JIS B 0253 管用テーパねじゲージ